

# 「逆転」で思い出したものの

## 片桐英数塾通信

全統模試実施校  
坂本教室 OFFICE  
TEL 24-1337  
FAX 82-6185  
天神教室  
TEL 23-1899  
E-mail  
info@katagirijuku.com

### 奇跡を起こしたくはないかい？

九回裏の最後の攻撃。相手には効率よく得点されてしまい、残念ながらここまでは八点差をつけられ負けていました。十一対三。普通に考えれば逆転はほぼ無理です。しかも場所は神宮球場。全日本大学野球選手権大会の決勝戦です。相手のマウンドにはのちに読売ジャイアンツにドラフト一位で指名された投手が立っています。なおさら逆転なんてできそうにもありません。こちらのチームのマウンドには途中からリリーフした私の中学からの友人が立っていました。彼は中学、高校が同じで、同じポジションを争っていました。争ってはいましたが、私は高2の冬に、肩とひじをこわし野球部をやめてしまいました。が……。

大学の体育会で野球をするということ。それは甲子園で活躍したような有名な選手たちとポジションを競い合うということだと言ってもいいくらいです。大学にもよるとはありますが……。当然ながら、競争は厳しい。実際、その友人がなかなかベンチに入らずに苦しんでいたのを知っていたので、その厳しさを間接的に感じていました。しかし、大学四年生の春、彼にチャンスが巡ってきました。「ベンチに入れた」と連絡してくれ、私はかなり喜びました。その時、喜びはしましたが、まさか、のちに彼がエースとしてチームを全国大会に引っ張っていくことになるのは想像もしていませんでした。

地区大会で勝ち続ける彼はスポーツ紙の目にもとまり、「不敗神話」であるとか「救世主」であるとか、そのような言葉で取り上げられるようになりました。圧巻だったのは、甲子園でも有名だった選手ばかりを集めたダンツの優勝候補だった大学を相手に、彼はわずか九十六球で完封してしまっただけです。分かりますか？言わなくても、甲子園で活躍していた連中が、打たせてもらえず、なすすべもなくギリギリ舞いしたということ。これには驚いてしまいました。あるスポーツ新聞に彼が投げている写真がアップで載っていました。その写真には、ハッキリとグローブのメーカーまで写っていました。

先ほど、中学、高校が同じだとは書きましたが、実は彼とは大学も同じでした。そのせいでことあるたびに連絡はしていたのですが、ある日電話がかかってきました。「ひさちゃん(私のこと)。高校の時使ってたグローブ、まだきれいやったやん。買ってすぐ(野球部)やめたやろ。もし使ってなかったら使ってたえ？」と。野球に全く未練がなかったわけでもないのに、思い出たときとてないうちに、かき出さず、割とあっさり、さっぱりと彼に渡しました。そのスポーツ新聞の写真に写っていたグローブは紛れもなく私が使っていたグローブでした。「あ、まだこのグローブ使ってたのね、たんや」と感謝するとともに、まだあのグローブが私の代わりには頑張ってくれているように思えて、一人目頭を熱くしていました。

さて、不敗神話の彼も、地区大会の優勝を目前にして初めての負けを喫してしまいました。そりやそうです。連投に次ぐ連投。疲れがたまっているはずが、サヨナラヒットを浴びて負けたのです。精神的にまいっているはずが、甲子園で活躍していた連中が、打たせてもらえず、なすすべもなくギリギリ舞いした……。そんなことだろうと、効くのかどうかとも分かっていませんが、持参した塗り薬を塗りながら、「これは効くでえ！」とハッタリの満面の笑みで、昔、中高の時、投球練習の後にやっていたように、右手をマツサージしました。のちにそれが効いたとは言いませんが、そんなはずはありません。かあちゃんや実家から送ってきたわけのわからぬ塗り薬だったもので、効いたとはとても思えません。ま、幸いながら、翌日、地区大会の代表決定戦に勝つことができ、全国大会に行けることになりました。

神宮(全国大会)に行っても彼は投げ続けました。気迫の投球でした。のちにプロ野球でエースとして活躍したピッチャーにも投げ勝ちました。そして決勝戦。連投中の彼は大事を取り先発はしていませんでしたが、先発投手が打ち込まれ、途中からリリーフでマウンドに上がることにあります。しかし、やはり疲れもあり、追加点を許してしまいました。十一対三。八点差。そして最後の攻撃。沈んでいる観客席に向かい応援団長からけきが飛びます。「まだたつたの八点差なのになににきりきりてるんだ！満塁ホームラン二本で同点だ！ たつた二本で同点なんだ！」と。あまりに現実離れしているげきに、あきらめ半分、開き直り半分で応援に元気が出ます。

しかし、言ってみるもので、先頭バッターがヒットで出塁。その後、ファールボールもあり内野安打もあり、何と満塁になつてしまします。しかも、次のバッターは当たっている二年生の選手。彼は、初球をたたき、弾丸ライナーでレフトスタンドへ。この時はしびれました。狙いすましていたのでしよう。打った瞬間にガッツポーズをしていました。

この満塁ホームランで四点差の十一対七。そして、その後、ツアアウトながらまた満塁に。しかも打順は四番。「奇跡よ起きろ」と心の中で叫びましたが、高く打ち上げられた打球はフェンスを超えることはなく、同点に追いつくこと、そして逆転することはできませんでした。

最近、「逆転」という言葉をよく聞きます。受験でもそうです。もしかすると人生においてもそうかも知れない。そんなことから「逆転」について、最近いろいろと考えています。考えている中で、「逆転」できるというものはありますか？

「逆転」とは奇跡です。奇跡はなかなか起こらないから奇跡なのです。ですので、目指せば必ず「逆転」できるというものはありません。懸命に努力しても届かないかも知れない。それでも、「逆転」を信じ走り続けなければ、「逆転」を信じることはできません。

「逆転」を信じて走り続けることができたなら、きっと「逆転」以上に大きな何かを手に入れることができるのではないのでしょうか。

あなたにとつての「逆転」とは何ですか？「逆転」を目指してはみませんか？必ず、未来に生きると思えます。

### 廣政愁一氏 講演会

3月26日(木)17時～

大手予備校の人気講師として活躍されたのち、学校内予備校を立ち上げ「リアルドラゴン校」と全国的に注目されるなど数々の実績を残してこられた廣政愁一先生が、片桐英数塾の塾生のために大学受験必勝法など実例もまじえてお話ししていただきます。将来の自分について広い視野で考えられるいい機会にもなると思います。

対象は新高1～新高3生

参加希望の方は、坂本教室まで LINE メールお電話でお申込みください。定員になり次第締め切ります。



### 新年度新規塾生募集中！

新中1生は **3月31日(火)** 正規授業スタート

新高1生は **3月27日(金)** 正規授業スタート

入学を前に、いち早く新学年の内容を学習していきます。新入生のみなさん、春からの新生活をぜひ充実したものにしていきましょう。入塾についての詳しいことは、坂本教室までお問い合わせください。 TEL 24-1337

### 片桐英数塾からのお知らせ

天神教室・坂本教室の3月のお休みは、

**1日(日) 8日(日) 15日(日) 22日(日) 29日(日)です。**

お迎え時の車の混雑について、保護者の皆様にご理解とご協力をお願いします。お迎えの際には、駐車場内での安全走行、エンジン停止にご協力いただくとともに、ご近所出入口などでの路上待機、他の駐車場の無断使用などはご遠慮いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

「暴風警報」「特別警報」発令時、その他地震、風水害、雪害等の緊急事態が発生し、授業に支障があると判断した場合は、すべての授業が休講となります。その際は当塾ホームページで可能な限りお知らせいたします。

HP アドレス <http://www.katagirijuku.com>

### Where there is a will, there is a way.

### 卒業おめでとう

みんなのこれまでの人生は、この「卒業」に向かって伸びていました。この「卒業」という一点に向かって伸びていたみんなの生活は、この「卒業」で、ひとまず終わりを告げます。

終わりというものは寂しいものです。二度とは戻れないはかないものです。しかし、だからこそ、なにものにも代えがたいほど尊いものなのです。

この「卒業」までの人生を、懸命に頑張り、そして「卒業」に辿り着いた君たちを、心よりお祝い致します。

卒業、本当におめでとう！

これからは、これまでのように、みんなが同じ方向に向いて、みんなと同じように歩くことは、もうありません。自分の道は、自分の意思で切り拓いていくしかありません。しかし、意思さえあれば道は拓かれます。そのことは忘れないで下さい。10年後、20年後のみんなが笑顔で、強い意志で人生を力強く歩んでいることを、願っております。



すべての受験を終えた受験生の皆さんは、合格高校・大学について坂本教室まで必ずお知らせください。また、体験談へのご協力もお願いします。